

第12期後期（平成13年度）拡大理事会議事録

日時：平成13年8月23日（木）15：00～24：00

場所：東京理科大学東伊豆研修保養所

出席者：二瓶好正、塚田捷、一宮彪彦、太田英二、荻野俊郎、岸清、副島啓義
坂間弘、高萩隆行、長谷川修司、杉田利男

議題

1. 会長挨拶

- ・法人化へ向けたスケジュール
- ・法人化のために：会員増強、市民講座、国際的認知

2. 国際化（荻野）

- ・小・中規模の国際研究会の開催が提案され、議論の後、進めることになった。
- ・台湾、中国、香港、韓国、シンガポール、オーストラリア、極東ロシアをターゲットにした研究会開催のためのワーキンググループを設置する。
- ・ISSS-4(25周年)とは、趣旨、規模、形式などの点で全く異なるもの。

3. 電子ジャーナル（一宮）

- ・欧文の電子ジャーナル（ペーパーレス）の開設が提案され、議論の後、準備を進めることになった。
- ・科学技術振興事業団（JST）のオンラインジャーナルのサービスを利用。

4. JABEE 関連（杉田）

- ・理学系の領域：応用物理学会が幹事のブロック（第11ブロック）に当学会が参加。
- ・工藤理事が審査員の資格講習会に参加。
- ・継続教育のためのコンテンツを JST が作成。今年度中に素材を作成するが、当学会としては、副島評議員を中心に素材作成に参加することにした。

5. 事務局の問題

- ・法人化に備え、事務局体制を強化する。

6. 会員増強

- ・草の根的な活動と宣伝活動
- ・欧文誌ジャーナルや国際化、関連学協会との関連など、すべての件に関連しているので、総合的な底上げが必要。

7. 関連学協会との連携

- ・日本真空協会との連合講演会開催の可能性が議論された。法人化後、実現を検討する。